

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 報

第 699 号

令和 4 年 1 月 20 日編集

発 行 所
公益 埼玉県獣医師会
社団法人
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高 橋 三 男

編集責任者 大 橋 邦 啓

印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

- テレビ埼玉で放映—高橋会長新春年頭挨拶… 1
埼玉県獣医師会主催ボウリング大会の開催中
止について…………… 2
草加市長・八潮市長を表敬訪問…………… 3
古川俊治シンポジウムに参加…………… 4

会務報告

- 役員・委員・班長合同会議…………… 5

予告

- 埼玉県獣医師会学術講習会（南支部担当
(Web開催)）のお知らせ …………… 6
埼玉県獣医師会学術講習会（北支部担当
(Web開催)）のお知らせ …………… 7
埼玉県獣医師会学術講習会（東支部担当
(Web開催)）のお知らせ …………… 8

ひろば

- 埼玉県獣医師会学術講習会（西支部担当
(Web開催)）の開催報告 …………… 9

お知らせ

- 埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ… 9
日本獣医師会からのお知らせ……………12
埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一
部改正について……………14
動物看護師オンラインセミナーのお知らせ…16
日本獣医麻酔外科学会オンライン学術集会の
お知らせ……………18
令和3年度国内における高病原性鳥インフル
エンザ発生状況……………19

- 埼玉県獣医師会学術広報版 ……………20

事務局より

- 事務局メモ……………21

- 編集後記……………22

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

テレビ埼玉放映 高橋三男会長新春年頭挨拶

令和4年1月2日(日) 12:55～13:00 テレビ埼玉で高橋三男会長の新春年頭挨拶が放映されましたので、その内容を紹介させていただきます。



司会：明けましておめでとうございます。

この時間は、埼玉県獣医師会の高橋三男会長に今年の抱負などをお伺いいたします。どうぞよろしくお願い致します。

会長：明けましておめでとうございます。

埼玉県獣医師会を代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。

司会：去年の獣医師会はどうでしたか。

会長：新型コロナウイルスは、一挙に世界中に蔓延しましたが、野生動物由来のウイルスといわれています。古来より、人と動物の共通感染症は数多くあり、その代表格である狂犬病の予防のため、人への主な感染源である犬への予防注射が、法律により飼い主に義務づけられています。

埼玉県獣医師会では、県内市町村との契約により、集合狂犬病予防注射を4月から5月にかけて実施しています。一昨年は4月7日に緊急事態宣言が発令され、多くの市町村で中止を余儀なくされました。このため、昨年は3月下旬に、大野知事、富岡市長会会長、石木戸町村会会長、金井医師会会長、藏内日本獣医師会会長からコメントをいただき、新聞の一面を使用して狂犬病予防注射の啓発記事を掲載させていただきました。お蔭様で多くの市町村で実施することができました。

司会：狂犬病の集合注射についてももう少し教えていただけますか。

会長：狂犬病の集合予防注射は、通常は屋外で実施され、1頭当たりの注射には僅かな時間しかかかりません。マスクを着用し、順番待ちの時に適切な間隔を取っていただければ、いわゆる三密の状態にはなりません。会場でご案内する注意事項に従っていただき、ぜひ愛犬に狂犬病予防注射を受けさせ、飼い主としての義務を果たしてください。また、狂犬病予防注射は動物病院で受けることもできます。

司会：最後に、今年の抱負をお聞かせください。

会長：人とペットが家庭で共生している現代では、誤った飼い方が人の命を脅かすことにもなります。ウィズコロナでペットと触れ合う時間も長くなっていることに加え、薬剤耐性菌や実験動物の分野においても、医師会との連携や協調による、我々獣医師会の社会貢献に対する責務はますます大きくなる一方です。

このほかにも、食の安全安心の確保、動物愛護、野生動物の保護・治療など、幅広い分野で活動しています。我々に課せられた使命に対し、埼玉県獣医師会の実績と組織力を活かし、公益法人として社会の要請に応えるべく、年頭にあたり、すべての会員が努力をしてまいる決意を新たにしています。

司会：今年もお忙しいことと思いますが、ご活躍ください。

会長：ありがとうございました。

令和3年度埼玉県獣医師会主催ボウリング大会の 開催中止について

ボウリング大会につきましては、会員及びその関係者相互の親睦と健康の増進を目的として、ボウリング同好会の協力を得て、例年2月に開催しているところですが、12月15日(水)の役員・委員・班長合同会議終了後に開催した厚生委員会において、令和3年度ボウリング大会の開催について協議したところ、新型コロナウイルス感染症の発生状況により1月上旬に判断するとの結果になりました。

この度、書面協議による厚生委員会において開催の可否を協議したところ、県内でもオミクロン株の市中感染が認められていることから委員全員が開催中止に賛成しました。この結果を受け、理事・監事への書面協議により、昨年に引き続いての開催中止を決定しました。

まことに残念ですがご了承いただきますようお願いいたします。

広告

KMバイオロジクスは 狂犬病の予防啓発に取り組んでいます。

飼い主の皆さまへ向けて



リーフレット
「狂犬病について考えてみよう」



アニメーション「狂犬病ワクチンを注射しましょう」



動画はこちら



製造販売元

kmb

KMバイオロジクス株式会社
☎(096)345-6505(営業直通)

※本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用してください。

KM2101-4

草加市長・八潮市長表敬訪問

令和3年12月27日(月)、高橋三男会長が青山利雄狂犬病予防委員長、宗像俊太郎南支部長及び南支部草加分会の先生方とともに、草加市役所において浅井昌志市長を表敬訪問しました。

高橋会長は、公益社団法人として動物の診療はもとより家畜衛生や公衆衛生、野生鳥獣保護など多岐に渡り活動している埼玉県獣医師会の事業内容を説明するとともに、浅井市長と高橋会長が契約を交わして実施している集合狂犬病予防注射について、昨年3月30日に掲載された埼玉新聞の全面記事を用いて詳細に説明し、引き続いての協力を要請しました。

浅井市長は熱心に説明を聞いていただくとともに、市民に対する広報の充実など具体的な取り組みについて回答をしていただき、地元の草加分会の先生方とともに大変有意義な情報交換をすることができました。

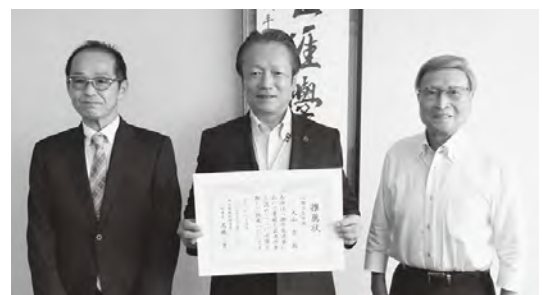
今回の表敬訪問は、昨年12月16日(木)に清水園(さいたま市)で開催された埼玉会(江原貞治会長(埼玉県宅地建物取引業協会会長):埼玉県の発展に寄与する県内事業者や団体の代表者の会)の講演会・情報交換に高橋会長が出席し、同席した木村忠義自由民主党草加支部長(埼玉県宅建政治連盟副幹事長)のご紹介により実現したものです。木村支部長には表敬訪問にも立ち会っていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



浅井昌志草加市長を囲んで
左から 牧野光昭先生(草加分会)、北島俊幸先生(草加分会長)、山本祥子先生(草加分会)、青山利雄
狂犬病予防委員長、高橋三男会長、浅井昌志市長、宗像俊太郎南支部長、木村忠義自由民
主党草加支部長、中村誠一先生(草加分会)

また、昨年の8月27日(金)には、高橋三男会長が草野道夫八潮分会長とともに、八潮市役所において大山 忍市長を表敬訪問し、集合狂犬病予防注射への協力を要請するとともに、多岐に渡る獣医師会の活動について意見交換をしました。また、高橋三男会長は埼玉県獣医師連盟理事長として目前に控えた市長選挙への推薦状を大山市長に手渡しました。

その後、9月5日(日)の市長選挙において大山市長は3期目となる当選をされました。



大山 忍八潮市長を囲んで
右から 高橋三男会長、大山 忍市長、
草野道夫八潮分会長

古川俊治シンポジウムに参加

令和3年12月23日(木)、さいたま市の清水園において、古川俊治シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは埼玉県獣医師連盟の顧問を務めていただいている参議院議員古川俊治先生(医師、弁護士)の後援会会長である埼玉県医師会会長、埼玉県医師連盟委員長の金井忠男先生が中心となって開催され、県内の保健医療関連団体から約220名が参加し、当会からも高橋三男会長をはじめ埼玉県獣医師連盟の役員ら12名が出席しました。

ゲストに衆議院議員の田村憲久前厚生労働大臣をお招きし、田村先生の基調講演に続いて田村先生と古川先生のディスカッションが行われ、コロナ禍での厚生労働大臣時代の過酷な仕事ぶりが紹介されました。このなかで、古川先生から医療関係者として獣医師も参加していることが紹介されると、田村先生からは人獣共通感染症もあり、獣医師の先生方には大変お世話になっているとの発言がありました。

シンポジウム終了後、高橋会長は南支部川口分会所属で日本生態系協会会長などの要職に就かれており、9月には田村厚労大臣と対談をしている池谷奉文先生とともに田村先生にご挨拶をし、ペットや家畜の診療はもとより、公衆衛生、自然保護など多岐に渡る獣医師の仕事について説明をしました。



田村憲久前厚生労働大臣と古川俊治参議院議員の
ディスカッション



田村前厚生労働大臣に獣医師の活動状況を説明
右から 高橋三男会長、田村憲久前厚労大臣、池谷奉文
日本生態系協会会長、金井忠男埼玉県医師会会長



埼玉県獣医師連盟顧問の古川俊治参議院議員
(医師・弁護士)を囲んで
右 高橋三男会長
左 池谷奉文先生

会務報告 令和3年度 役員・委員・班長合同会議

令和3年12月15日(水) 午後1時30分から、さいたま市「清水園」において、役員・委員・班長合同会議を開催した。例年、役員改選の年には総会終了後、7月に新体制での役員・委員合同会議を開催し、事業運営方針について協議し、終了後に各委員会毎に打合せ(狂犬病予防委員会は班長との合同会議)を行っている。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染状況により、7月には一同に集まって開催することが叶わず、感染が下火になったタイミングで、会場内での人の動きを最小限にするため、班長も冒頭からの出席とした役員・委員・班長合同会議として開催した。

1 会長挨拶

当会も、今や全国に誇れる地方会へと発展して参りましたが、昨今の獣医師会を巡る状況は、獣医学部の新設など社会情勢の変化や市民意識の多様化に加え、少子高齢化が急速に進む中で家庭動物の減少が見込まれるなど、大きく変貌してきています。さらに愛玩動物看護師法の完全施行や動物愛護管理法の改正によるマイクロチップ装着の義務化を目前に控え、獣医師会自らの変革は避けて通れない課題となっております。このような状況のなか、新型コロナウイルスが2年にわたり猛威を振るい続けております。昨



挨拶をする高橋三男会長

年6月に開催した第73回定時総会は前年に引き続き最小限の人数で、来賓もお招きできず、懇親会も行えない状態でした。しかし、皆様のご尽力により開催することができ、お陰様で提案した全ての議案が原案のとおり可決・承認されました。また、役員も改選され、私が新役員の皆様から会長に選任され、新たな第一歩を踏み出すこととなりました。現在はワクチン接種が進み感染者が少なくなっておりますが、世界で猛威を振るうオミクロン株が空港検疫で確認されています。前例がなく、先の見えない社会環境の今だからこそ、私は埼玉県獣医師会の各委員、支部長、副会長、そして五十嵐会長から引き継いだ会長として、微力ながらも貴重な経験と実績をもとに、会の発展のために常に会員の立場を考えて、「熟慮」、「決断」、「実行」をモットーにして、乏しいながらも自信と責任と誇りを持って、会の運営に努力して参る所存です。役員、委員、班長の皆様方におかれましては、どうか今後とも、なお一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

2 審議事項

(1) 新体制について

各委員長及び各委員、各班長の委嘱状はすでに郵送により交付しているため、事務局から委員会毎に新体制が紹介された。

(2) 本年度の事業運営方針について

高橋会長から事業運営の重点事項が説明された。

(3) 各委員会の打ち合わせ

委員会毎に分かれ、本年度の委員会の事業取り組み方針等が協議された。

開業部会第1運営委員会、開業部会第2運営委員会、総務委員会、獣医事調査委員会(合同委員会)
勤務部会運営委員会

学術委員会

狂犬病予防委員会・班長合同会議

厚生委員会

情報検討委員会



三密を避けた会場で開催

予 告**埼玉県獣医師会学術講習会(南支部担当(Web開催))のお知らせ****(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小3(3))**

南支部長 宗像俊太郎

学術委員会委員長 高橋 一成

学術委員 松尾 英治

犬や猫のがんの診断にはパターンがあって、はっきり言って確率論です。よく遭遇する腫瘍はよく遭遇しますし、まれな腫瘍はまれにしか遭遇しません。つまり、よく遭遇する腫瘍のパターンを幅広く知っておけば、日々の臨床で診断に困る機会はグッと減る可能性があります。また、がん治療を辞退されるご家族は少なくありませんが、多くは診断まではつけてもらいたいとおっしゃいます。同様に、診断はきちんとつけられるようになりたい、と考えるホームドクターも多いはずです。本レクチャーでは、日々がんと奮闘している臨床医と、がんの診断を得意とする病理医がコラボして、犬と猫の腫瘍に関する部位別鑑別診断の考え方、そして一部のがんに特徴的な診断パターン、いわゆる、「犬と猫の腫瘍あるある」を詳しく解説する予定です。臨床医と病理医の掛け合いも、併せてお楽しみ下さい。

日 時：令和4年2月2日(水)**20:00～23:00****演 題：「10万件の国内データベースから学ぶ、部位別鑑別診断リスト活用のすすめ（胸腔内・腹腔内
病変編）」****講 師：ノースラボ 米国獣医病理学専門医 賀川 由美子 先生**

日本小動物医療センター附属 日本小動物がんセンター

米国獣医内科学専門医（腫瘍学） 小林 哲也 先生

参 加 費：会 員 無料

会員外 有料（料金未定）

視聴方法：Vetpeerのウェブサイト (<https://vetpeer.info/>) →vetscope配信ページより**申込方法：上記ウェブサイトにて**

※視聴には会員登録が必要です。

前日までに会員登録しておくことをお勧めいたします。

埼玉県獣医師会学術講習会(北支部担当(Web開催))のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(7) 小3(8))

北支部長 大橋 邦啓
学術委員会委員長 高橋 一成
学術委員 山本 慎也

この度、日本小動物医療センターの戸島篤史先生に講習をお願いしました。近年、多く遭遇する疾患の画像診断についての内容です。情報をアップデートしていただき日々の診療にお役立てください。

日 時：令和4年2月11日(金・祝)
14：30～17：00

演 題：「第1部：最近多すぎる、猫の尿管結石について」
「第2部：急性膵炎って？」

講 師：日本小動物医療センター 画像診断科科长 戸島 篤史 先生

参 加 費：無料

視聴方法：Zoom形式

申込方法：下記URLより事前登録をお願いいたします（2月4日(金) 締切）
<https://forms.gle/R9y22f4khXzaFcuD9>



そ の 他：本講習会はZoomミーティングにより実施します。
申し込みされた方にはメールにて講習会のIDとパスを送付します。
Zoomを初めて使用される方は事前にダウンロードと登録をお願いいたします。
(<https://zoom.us/download>)
Zoomの表示名は会員名をお願いいたします。

埼玉県獣医師会学術講習会(東支部担当(Web開催))のお知らせ (獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4) 小3(6))

東支部長 青山 利雄
学術委員会委員長 高橋 一成
学術委員 笠次 良宣

この度、日本獣医生命科学大学の竹村直行先生をお招きし、心臓病症例の治療と管理を実践的に学ぶセミナーを開催いたします。

明日からの診療に役立つ講義内容となっております。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時：令和4年3月4日(金)
20:30～22:30

演 題：「一般臨床家に是非とも伝えたい心臓病症例の治療と管理」

講 師：日本獣医生命科学大学 獣医内科学教室第二 教授 竹村直行先生

参 加 費：無 料

視聴方法：Zoom形式

申込方法：下記URLまたはQRコードより事前登録をお願いいたします。(2月25日金曜日登録締め切り)
<https://forms.gle/1AracBpf5wRPKfe6A>



そ の 他：本講習会はZoomミーティングにより実施いたします。

Zoomを初めて使用される方は事前にダウンロードと登録をお願いいたします(無料)。

(<https://zoom.us/download>)

Zoomの表示名は会員名をお願いいたします。

なるべくネット通信環境の良い場所でご視聴ください(速度が遅いと音声・画像が乱れる場合があります)。

講習会の録画・録音はご遠慮ください。

この講習会の見逃し配信は行いません。

ひろば

埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当(Web開催))の開催報告

西支部長 堅木 道夫
 学術委員会委員長 高橋 一成
 学術委員 岡田かおり

令和3年12月20日(日) 西支部担当の学術講習会をオンラインセミナー形式で開催いたしました。講師には日本獣医生命科学大学の長谷川大輔先生をお招きし、「よくある脳疾患の診断と治療(てんかんを除く)」という演題でご講演頂きました。例年の会場開催では、日曜日の午後に講習会を開催していましたが、昨年よりオンラインセミナーとなりましたので、今回は月曜日の夜20時よりの開催を試みました。会場開催とは違い時間の制約が厳密でないこともあり、用意して頂いた内容を最後まで丁寧に講義して頂きました。

近年多く見られる認知症や脳腫瘍、あまり見られなくなった水頭症、以前は稀といわれていたものの診断技術の向上により増加傾向にある脳血管障害などについて、各々の診断と治療をお話頂きました。

時間が延長したにもかかわらず最後まで視聴して頂き、参加して頂いた先生方に心より感謝申し上げます。

<参加者>

参加者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	衛生支部	団体支部	所属不明
53名	6名	9名	21名	2名	6名	1名	3名	5名

お知らせ

畜安第752-3号
 令和3年12月14日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
 会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課
 課長 野澤 裕子(公印省略)

異常家きんを発見した場合の早期通報及び都道府県から動物衛生課への早期報告の徹底について(通知)

日頃から本県家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

標記の件について、令和3年12月12日付け3消安第4846号にて、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から通知がありました。

本県を含む国内において、令和3年度シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生事例が引き続き確認されています。

これらの状況を踏まえ、貴会会員に周知のうえ、引き続き、野鳥等の侵入防止対策や車両、手指等の消毒の徹底等について、地域一体となった防疫対策の徹底をお願いします。

畜安第792号

令和3年12月16日

公益社団法人 埼玉県獣医師会

会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長

野澤 裕子（公印省略）

家畜における遠隔診療の積極的な活用について（通知）

獣医事行政の推進については、日頃から格別の御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、別添のとおり令和3年12月15日付け3消安第4800号により農林水産省消費・安全局長通知がありましたので、会員の皆様への周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1 通知の内容

群の一部に対面での診療が行われていない家畜が含まれている場合であっても、初診から遠隔診療（要指示医薬品の処方を含む。）が可能。

2 留意事項

- (1) 遠隔診療を受けようとする農場が、飼養衛生管理基準に定める農場ごとの担当獣医師等の定期的な指導を受けていること。
- (2) 以下の場合、対面での診察の切り替えや、管内家畜保健衛生所等への連絡を行うこと。
 - a 家畜伝染病が疑われる場合
 - b 正確な診断のため触診を要する場合
 - c 畜産農家の情報通信機器の扱いが不慣れであり、正確な情報が得られない場合
 - d その他、遠隔診療による対応が困難又は不適切であると考えられる場合
- (3) より適切かつ安全に遠隔診療を実施するため、遠隔診療を行う獣医師は、送付された検体の検査や、より高度で情報量の多い情報通信技術の活用等により診療に必要な情報を入手すること。
- (4) 家畜への過剰投薬防止等の観点から、家畜保健衛生所の家畜防疫員及び飼養衛生管理基準に定める農場ごとの担当獣医師等の関係者間で診療に関する医薬品の処方、使用等の情報を共有し、連携して慎重使用の推進を図ること。

※別添省略

畜安第782-3号

令和3年12月27日

公益社団法人 埼玉県獣医師会

会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長

野澤 裕子（公印省略）

年末年始等に向けたアフリカ豚熱、豚熱、口蹄疫、 高病原性鳥インフルエンザ等に関する防疫対策の徹底について（依頼）

日頃から家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

アフリカ豚熱、豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等については、特に総合的に発生の予防及びまん延防止のための措置を講ずる必要があるものとして、畜産関係者に飼養衛生管理の確認、指示並びに万が一の発生時のまん延防止対策の徹底等をお願いしてきたところです。

令和3年11月10日以降、本県を含む8県で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されており、海外においても、アジアではアフリカ豚熱、世界各地においては高病原性鳥インフルエンザの発生が継続しています。

年末年始等を迎え人の往来の増加が見込まれること、渡り鳥の飛来・滞在シーズンが続くことから、別添の令和3年12月17日付け3消安第4985号（農林水産省消費・安全局長通知）を踏まえ、家畜を飼養する貴会会員に対し、下記について周知いただくとともに、改めて飼養衛生管理基準の遵守、防疫対策の一層の強化・徹底をお願いいたします。

記

1 早期発見・通報及び農場への病原体侵入防止の再徹底

- (1) 特定症状等の異状が見られた場合に速やかに届け出られるよう、異状の早期発見に努めること。
- (2) 看板の設置等により、部外者の立ち入り及び不要な物の持ち込みを防止すること。
- (3) 防護柵、防鳥ネットの確認及び農場周辺の消毒を徹底すること。

2 外国人従業員への注意喚起

海外からの肉製品が国内へ持ち込まれないようにすること。

3 海外渡航の自粛等の指導の徹底

昨年に引き続き、新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的な感染拡大状況を踏まえ、感染症危険レベルが高い国・地域への渡航を止めること。また、畜産関係者については、アフリカ豚熱や口蹄疫等の発生地域への渡航は自粛すること。

※別添省略

2022/01/05

地方獣医師会事務局 御中

日本獣医師会事務局

【情報提供】「福岡県“One Health”国際フォーラム2022」の開催について福岡県から本会あてに周知依頼がありましたので、貴会会員に周知方よろしく願いいたします。

公印省略

3 国フ第 3 9 号

令和 3 年12月27日

公益社団法人日本獣医師会 会長 殿

福岡県“One Health”国際フォーラム実行委員会

大会本部長 服部 誠太郎

(福岡県知事)

「福岡県“One Health”国際フォーラム2022」の開催について（依頼）

本県の保健医療介護行政の推進につきましては、平素から御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症など、各分野の世界トップクラスの研究者がワンヘルスアプローチにより解決していくことを目指し、福岡宣言がなされた福岡県からその研究成果を世界に向けて発信するため、「福岡県“One Health”国際フォーラム2022」を下記のとおり開催しますので、御案内いたします。

つきましては、貴所属及び関係機関等に対し、周知していただきますようお願いいたします。

1. 開催概要

(1) 主催

福岡県“One Health”国際フォーラム2022実行委員会

(2) 会期

①【開会式、基調講演、県民講座】令和 4 年 2 月12日(土) 13:00～16:15

②【分科会】令和 4 年 2 月13日(日) 10:00～16:20

(3) 会場

福岡アイランドシティフォーラム（福岡市東区香椎照葉6-6-6）

(4) 内容

基調講演	「One Health and the Human Animal Bond : COVID Implications」 ワンヘルスと、人と動物の絆—COVID の影響 レベッカ ジョンソン ※リモート出演（ミズーリ大学 シンクレア看学部 名誉教授） ペットと一緒に暮らすことを推奨している高齢者施設を設立し、人と動物の共生社会づくりに貢献。
	「Everything Comes from Somewhere : Wildlife, Ecology, and Human Disease」 あらゆるものはどこからかやって来る—野生動物、生態系、人間の病気 デビット クアメン ※ビデオ出演 （作家・ジャーナリスト）「スピルオーバー ウイルスはなぜ動物からヒトへ飛び移るのか（2014）」において、次にパンデミックを起こし得る病原体としてコロナウイルスを挙げていた

県民講座	「ワンヘルスにおける森林医学～健康は森から～」 李卿（日本医科大学付属病院 リハビリテーション科 臨床教授）
分科会	(1) 人と動物の共通感染症 (2) 薬剤耐性（AMR） (3) 環境保護 (4) ワンヘルスの取組

(5) HPアドレス

参加には事前に申込が必要です。参加費無料。

下記ホームページからお申し込みください。

<https://www.one-health-fukuoka2022.com/>（1月上旬より申込開始予定）

広告



毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに！



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所

製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号

TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344

URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>

E-mail: daihyo@matsuken-yakuhin.com

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

松研の動物用生物学的製剤

豚用ワクチン

- 豚コレラ生ウイルス乾燥予防液
- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- M/バック レンサ 注
- M/バックイニエ
- 松研M/バック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

2022/01/07

地方獣医師会 事務局 御中

日本獣医師会事務局

この度、厚生労働省から首題の件について周知依頼があった旨、農水省から通知がありました。
つきましては、貴会会員に通知方よろしく願いいたします。

事 務 連 絡

令和 3 年12月20日

公益社団法人 日本獣医師会専務理事 殿

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課
課長補佐（薬事審査管理班担当）

食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について

今般、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官より、食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（令和 3 年12月17日厚生労働省告示第408号）の公布について、別添のとおり通知がありました。
つきましては、貴会会員への周知方お願いします。

生衛第440－4号

令和 3 年12月24日

公益社団法人埼玉県獣医師会

会長 高橋 三男 様

埼玉県保健医療部長 関本 建二

埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正について（通知）

県の動物愛護管理行政の推進につきましては、日頃から格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例が令和 3 年12月22日に成立し、本日付けで公布されましたので、お知らせします。本条例の概要は別添のとおりとなります。

つきましては、貴会会員への周知等に御配慮くださるようお願い申し上げます。

（添付書類）

- 1 条例改正の概要
- 2 条例（公布文）
- 3 条例改正のあらまし
- 4 新旧対照表

（参考）

埼玉県ホームページ「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例が改正されました」

URL： <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0706/doubutu/doubutuaigojyoureikaisei2021.html>

「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例」の一部改正について

1 趣旨

動物の愛護及び管理に関する取組を強化するため、飼い主になろうとする者の責務を新設する等するもの

2 改正内容

(1) 県の責務を改正し、連携規定を追加（第3条第2項）

県は、施策を実施するに当たり、市町村、動物関係団体等と相互に連携を図る。

(2) 飼い主になろうとする者の責務を新設（第3条の2）

飼い主になろうとする者は、動物の飼養に先立ち、その習性や生態などの知識習得に努め、現在及び将来にわたる生活環境等を考慮し、終生飼養できる動物を選択するよう努める。

(3) 動物取扱業者の責務を新設（第4条の2）

動物取扱業者は、関係法令を遵守することはもとより、動物に関する最新の知識の習得や、情報の発信に主体的に取り組むよう努める。

(4) 飼い主の遵守事項を改正し、災害時対策に関する規定を追加（第6条第8号）

災害に備えて必要な準備を行うよう努めるとともに、災害が発生したときは必要な措置を講ずるよう努める。

(5) 譲渡推進の理念をより強く示すため、県が譲渡できる動物に次の動物を明記（第11条第1項）

ア 所有者ではない拾得者等から引き取りを求められ収容した犬猫

イ 公共の場所において収容した疾病にかかり、負傷をしていた犬猫等

ウ 飼養、係留などされていなかったため収容した野犬等

※ 県では、これらの犬猫等について、これまでも法及び条例の規定に基づき譲渡を行ってきたところであるが、譲渡の推進に積極的に取り組むという理念をより強く示すため、改めて明記したものである。

(6) 動物愛護推進員の活動として次の活動を新設（第17条の3）

ア 県に対し、動物の愛護及び管理に関する施策の推進に資する情報を得たときに、情報の提供を行う。

イ 飼い主になろうとする者に対し、その求めに応じて適切な助言を行う。

(7) 財政上の措置を新設（第17条の4）

県は、施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努める。

3 施行期日

公布の日（令和3年12月24日）

※添付書類一部省略

動物看護師オンラインセミナーのお知らせ

学術委員会 委員長 高橋 一成
情報検討委員会 委員長 宗像 俊太郎

名古屋市獣医師会主催の動物看護師オンラインセミナーの第3弾が2月6日（日）14:00～16:30に開催されます。当会も後援し、受講料は無料となります。今回は令和2年9月に当会が開催したWeb講習会で講師をお願いした大野耕一先生が講師を務めるなど、大変有意義な講習となっております。開催当日の午前10時まで申込み可能で、見逃し配信もありますので、下記チラシを参照していただき、各自で申込みのうえご視聴いただきますようお願いいたします



公益社団法人
名古屋市獣医師会
NAGOYA Veterinary Medical Association



人とペットの健康を共に支える

動物看護師オンライン
シリーズセミナー

第3弾

**今、自分に
できること**

～明日への一歩～

講師

子犬子猫の困った行動

もみの木動物病院
副院長

村田 香織 先生

犬と猫の嘔吐・下痢

～動物看護師が困ったときのこと～

動物医療センターPeco
院長

大野 耕一 先生

参加費 **無料**

専用ページからオンライン視聴できます

2022年 **2月6日** **日** 14:00～16:30 (質疑応答込み)

対象 動物看護師・獣医師
※地域・所属は問いません

主催者より

申込 **×切** 当日10:00まで (見逃し配信あり)

動物看護師オンラインシリーズセミナー『今、自分にできること』第3弾、今年度最後のセミナーは第1部講師に、日本における動物行動学の第一人者である村田香織先生をお招きしました。村田先生は「JAHA家庭犬しつけインストラクター養成講座」委員会アドバイザー、「こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座」のメイン講師などでも活躍です。今回、子犬や子猫を大切な家族の一員として迎えた時に、皆さんが感じる問題行動についてお話しいたします。

第2部講師の大野耕一先生は日本で大変有名な動物の消化器疾患の先生であり、講演の面白さでも有名な先生のお一人です。昨年東京大学を退職され、現在は東京の動物医療センターPecoの院長として診療されています。今回は毎日のように遭遇する「犬と猫の嘔吐・下痢」について動物看護師の皆さんが知っておくべき事をお話しいたします。是非このセミナーを『明日への一歩』に繋げて下さい。

【主催】 (公社) 名古屋市獣医師会 【協賛・運営】 日本ヒルズ・コルゲート株式会社
【後援】 (公社) 大阪府獣医師会 (公社) 埼玉県獣医師会 (公社) 京都市獣医師会

ライブセミナー事前登録方法

アクセス方法

Step 1

※下記いずれかの方法でヒルズ獣医師関係者向けサイト
(Hill's Vet's Site) へアクセス

A. QRコードを読み取る



B. 検索バーで「ヒルズ 獣医」と入力

C. URLに <http://vet.hills.co.jp/> と入力

Step 2



Hill's SEMINAR
ヒルズセミナー
申し込みサイト

トップ画面に表示される
セミナー申し込みサイトのバナーをクリック



セミナー申し込みサイトでの事前登録方法

Step 3

※病院様から複数のご参加される場合にも
個別にお申し込みいただきますようお願いいたします。

1. Step1,2を経て、セミナー申し込みサイトにアクセス
2. 該当のセミナーを選択し、セミナー詳細ページへ
3. 「事前登録はこちら」をクリック
4. 申し込みフォームに必要事項（お名前、病院様名、メールアドレスなど）入力
5. 申し込み完了後に登録いただいたメールアドレスにオンライン視聴できる専用ページのURLが送られます



当日のアクセス方法

（講演開始10分前からアクセスできます）

セミナー開催前日の12時に届くメールに記載されているURLから
オンライン視聴できる専用ページにアクセスしてください

※オンライン視聴できるURLはセミナー開始1時間前に送られるリマインドメールに記載されております。



【推奨環境について】

OS : iOS11 以上 / Windows 10 / 8.1 以上 /
Mac OS 10.15 / 10.14 以上
ブラウザ : Internet Explorer 11 以上 / Microsoft Edge /
Chrome / Firefox / Safari 最新バージョン
Wi-fi : 無線 / 有線どちらでも可
速度 : 3.0Mbps 以上

※Wi-fi環境によって動画が途切れる可能性があります。



日本ヒルズ・コルゲート株式会社
〒102-0084 東京都千代田区二番町5-25

お問い合わせ



0120-211-317

土日、祝日を除く
平日 9:30~17:00

獣医師関係者向け
公式Twitterアカウント



2022.1

第103回日本獣医麻酔外科学会 オンライン学術講習会のお知らせ

第103回日本獣医麻酔外科学会オンライン学術講習会が開催されます。当会も後援をしておりますのでお知らせします。

開催期間 令和4年3月18日（金）～3月20日（日）（見逃し配信は4月4日（月）まで視聴可能）

参加登録 下記を参照してください。



2021年度 第103回 日本獣医麻酔外科学会 オンライン学術集会

同時開催 日本獣医内視鏡外科研究会

2022 3/18(Fri)・3/19(Sat)・3/20(Sun)

見逃し配信期間：2022年3月21日(月)～4月4日(月)

最新情報は学術集会サイトにてお知らせいたします

<https://www.jsvas.net/ezm/2021-103/>

ライブ当日は講演動画を紹介後、ディスカッションをライブにて行います。
なお、一般演題のライブ配信日程は、演題数により変更となる場合があります。
変更については学術集会サイトに掲載致します。



お問い合わせ オンライン学術集会事務局：〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-9-19 TEL：03-5918-8070 FAX：03-5918-8080
E-mail：online@jsvas.net URL：www.jsvas.net

☆ 大会参加のご案内 ☆

参加登録期間

事前登録（会期前）	2022年1月10日(月) — 3月15日(火)	1/10(月)から 受付開始します 
直前登録（会期中）	2022年3月16日(水) — 4月4日(月)	

<https://onlineseminar.stores.jp/>

参加費

	会 員 日本獣医麻酔外科学会会員 日本獣医内視鏡外科研究会会員	非 会 員 左記学会、研究会会員以外	学 生 大学生・大学院生（※）
事前登録	8,000円	14,000円	1,000円
直前登録	10,000円	16,000円	3,000円

※研修生・研修医は「会員」あるいは「非会員」でお申し込み下さい。

参加費のお支払い

- 学術集会サイト (<https://www.jsvas.net/ezm/2021-103/>) にアクセスします。開催概要欄の下に、参加登録のご案内があります。該当する申込区分の「参加登録はこちら」をクリックして下さい。
- オンラインネットショップへ移動します。画面右「カートに入れる」をクリック、「ゲスト購入する」を選択し、手続きを進めて下さい。
- 登録時のメールアドレスは、開催前のリマインドメールや、会期中のお知らせに使用致します。日頃からお使いになるアドレスをご登録いただけますようお願い致します。
- 購入完了後、自動返信メールが届きます。メールに記載の「オーダー番号」は、大会サイトのログインに必要なパスワードとなりますので、大切に保管をお願い致します。なお、返信メールが届かない場合は必ず事務局 (online@jsvas.net) へお問い合わせ下さい。

令和3年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

(令和4年1月17日時点)

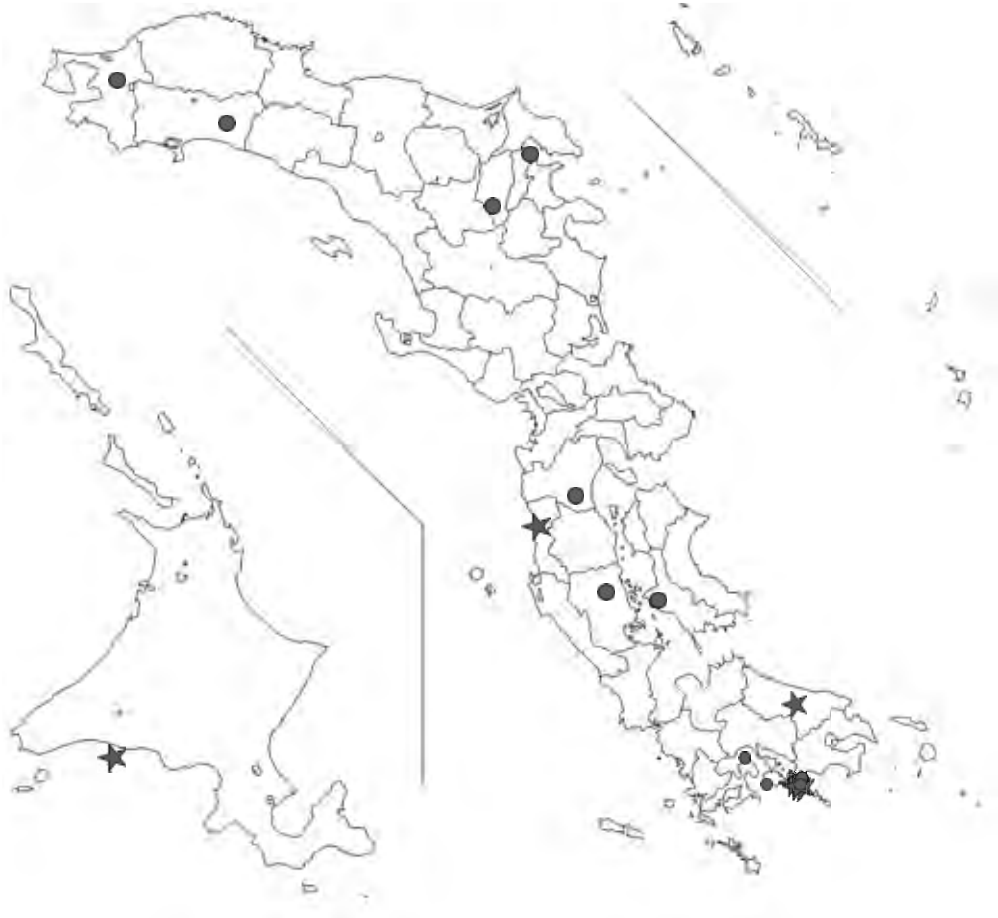
○家きん 9県13事例羽数の単位は万羽

kagosima k	地域	疑似患者判定日	用途	羽数	病原性※	亜型
1	秋田県横手市	11/10	採卵鶏	約14.3	HPAI	H5N8
2	鹿児島県出水市	11/13	採卵鶏	約3.8	HPAI	H5N1
3	鹿児島県出水市	11/15	採卵鶏	約1.1	HPAI	H5N8
4	兵庫県姫路市	11/17	採卵鶏	約15.5	HPAI	H5N1
5	熊本県南関町	12/3	肉用鶏	約6.7	HPAI	H5N1
6	千葉県市川市	12/5	あひる (アイガモ)	約0.03	HPAI	H5N1
7	埼玉県美里町	12/7	採卵鶏	約1.7	HPAI	H5N1
8	広島県福山市	12/7	採卵鶏	約3.0	HPAI	H5N1
9	青森県三戸町	12/12	肉用種鶏	約0.7	HPAI	H5N1
10	愛媛県西条市	12/31	採卵鶏	約1.3	HPAI	H5N1
11	愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約8.3	HPAI	H5N1
12	愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約14.2	HPAI	H5N1
12関連	愛媛県今治市	1/4	採卵鶏	約0.6	-	-
13	鹿児島県長島町	1/13	肉養鶏	約5.4	HPAI	H5N1
13関連	鹿児島県長島町	1/13	肉養鶏	約5.7	-	-

○野鳥 10事例 (HPAIに限る)

※詳細は環境省https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

検体回収場所	検体回収日	種名	病原性※	亜型
1 北海道旭川市	10/26	マガモ	LPAI	H5N3
2 鹿児島県出水市	11/8	環境試料(水)	HPAI	H5
3 宮城県宮崎市	11/9	糞便	HPAI	H5N1
4 鹿児島県出水市	11/19	ナベヅル	HPAI	H5N8
5 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	HPAI	H5N8
6 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	HPAI	H5N8
7 鹿児島県出水市	12/3	マガモ	ウイルス分離陰性	-
8 鹿児島県出水市	11/29	環境試料(水)	HPAI	H5N8
9 鳥取県鳥取市	12/1	環境試料(水)	HPAI	H5N8
10 鳥取県鳥取市	12/1	糞便	LPAI	H7N7
11 鹿児島県出水市	12/10	オナガガモ	ウイルス分離陰性	-
12 鹿児島県出水市	12/6	環境試料(水)	HPAI	H5N8
13 福井県若狭町・ 美浜町	11/25	野鳥糞便	LPAI	H7N7
14 石川県内灘町	12/3	野鳥糞便	LPAI	H5N3
15 鹿児島県出水市	12/20	環境試料(水)	HPAI	H5N1
16 北海道苫前町	1/2	オジロワシ	HPAI	H5



※ HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ
LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ
黒塗りはLPAIまたはウイルス分離陰性

● 家きん
★ 野鳥 (HPAIに限る)

令和3年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和3年1月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月 9 日(木)		北支部 「新型コロナウイルス感染対策および動物への感染について」 東京農工大学農学部附属感染症未来疫学研究センター 水谷 哲也 先生 【Zoomにて開催】	
9 月12日(日)	令和3年度 関東・東京合同地区獣医師大会(栃木)獣医学術関東・東京合同地区学会 (宇都宮市 栃木県総合文化センター)→Zoomにて配信		
10月31日(日)		さいたま市支部 「猫の心筋症～無徴候猫のスクリーニング検査を考える～」 どうぶつの総合病院 高野 裕史 先生 【Zoomにて開催】	
11 月			
12 月			
12月20日(月)		西支部 「よくある脳疾患の診断と治療(てんかんを除く)」 日本獣医生命科学大学 長谷川 大輔 先生 【Zoomにて開催】	
令和4年 1月21日(金) ～2月6日 (日)	令和3年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会【Web開催】		
1 月25日(火)	農林支部 令和3年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
2 月 2 日(水)		南支部 「10万件の国内データベースから学ぶ、鑑別診断リスト活用のすすめ(胸腔内・腹腔内病変編)」 ノースラボ 賀川 由美子 先生 日本小動物医療センター 小林 哲也 先生 【Vetscopeにて開催】	
2 月11日(金・祝)		北支部 「第1部：最近多すぎる、猫の尿管結石について」 「第2部：急性膀胱炎って？」 日本小動物医療センター 戸島 篤史 先生 【Zoomにて開催】	
2 月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3 月4日(金)		東支部 「一般臨床家には是非とも伝えたい心臓病症例の治療と管理」 日本獣医生命科学大学 竹村 直行 先生 【Zoomにて開催】	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

- 1月21日～2月6日 令和3年度日本獣医師会学会年次大会→Web開催
- 1月25日 埼玉県家畜保健衛生業績発表会（さいたま市 埼玉会館）
- 2月2日 埼玉県獣医師会学術講習会（南支部担当（Web開催））
- 2月11日 埼玉県獣医師会学術講習会（北支部担当（Web開催））
- 2月27日 第3回関東・東京合同地区獣医師会理事会（栃木県宇都宮市 ホテルマイステイズ宇都宮）→Web開催
- 3月4日 埼玉県獣医師会学術講習会（東支部担当（Web開催））
- 4月17日 第1回関東・東京合同地区獣医師会理事会（神奈川県藤沢市 藤沢商工会）

- 7月3日 第2回関東・東京合同地区獣医師会理事会（神奈川県藤沢市 藤沢商工会）
- 9月4日 関東・東京合同地区獣医師大会・三学会（神奈川県藤沢市 日本大学）
- 令和5年
- 2月26日 第3回関東・東京合同地区獣医師会理事会（神奈川県藤沢市 藤沢商工会）
- 11月11日～13日 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会、第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）（福岡県福岡市 ヒルトン福岡シーホーク）

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 胃腸と皮膚が気になる犬に Dr. CREDO No.1 成犬用 総合栄養食 1kg・3kg	 血流と健康が気になる犬に Dr. CREDO No.2 中・高齢犬用 総合栄養食 1kg	 下部尿路が気になる成猫に Dr. IDEA No.1 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g) 400g×6パック(2.4kg)	 成猫の体重管理に Dr. IDEA No.2 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g) 400g×6パック(2.4kg)
--	---	---	--

森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 千葉：043-309-8080

編集後記

新年あけましておめでとうございます。経験したことのない気候変動の中で雪に苦しむ日本海側の方には申し訳ないが、正月らしい寒さで雲一つないご来光を拝みながら新年を迎えられました。今年もよろしくお願いいたします。

3年目を迎つつあるコロナ禍の中でオミクロン株の感染が爆発的に増加しております。誰もが今年こそは穏やかな一年であって欲しいと願ったことでしょう。

正月は、大晦日の紅白歌合戦から、初詣、そしてスポーツ好きには、おとそ気分でのニューイヤーズ、天皇杯、箱根駅伝、ラグビー決勝戦、15日には高校サッカー決勝戦など楽しみが豊富だ。しかし、この2年間、正月はコロナ禍の中でステイホームを余儀なくされたが、駅伝は今年もテレビ観戦で楽しませてもらった。箱根は青学が10分以上の差をつけて新記録で優勝し、実業団駅伝はホンダ（埼玉）が51年目で初優勝した。選手の追いつ追われつの必死の姿と時折素晴らしい景色が映像に映し出され、一発勝負で苦闘しながら襷を繋ぐための必死の姿が我々の心を引き付けるのだろう。

コロナ第6波が我が国を襲っている！必ず来ると思っていたが、オミクロン株の感染拡大は海外であれだけ暴れているのに準備が出来ていなかったのでは？と感じる。3回目のワクチン接種は以前よりも早く始まったが、国産のワクチンと治療薬が開発・承認され、国民が安心して生活出来るよう努力して欲しいものである。政治に対して国の置かれている状況、特に今回の様な緊急事態にはその立場に合わせて機能する様、国民が見張ることが出来る改革が必要ではないだろうか？

昨年11月に宮城県内の養豚場で豚熱が発生し、その養豚場の精液を使って人工授精した県

内の2養豚場の種雌豚計15頭を殺処分したそうだが、精液も？そうだよー？今月末には移動禁止が解けるそう。今後再発を防ぐためにも農家には注意喚起するしかないです。また、美里町の養鶏場の高病原性鳥インフルエンザの発生で鶏や鶏卵の半径3km以内の移動制限が1月2日に解除されたそう。豚も鶏もで、県畜産安全課、家畜保健所や関係者の皆様方、暮れから正月にかけて大変お疲れさまでした。

さらに、畜産関係者には大変なニュースが入ってきた。米国に次ぐ世界第2位の農産物輸出国であるオランダで気候変動によって低地（農地）が水没する危険にさらされているのと、温室効果ガス（メタンや窒素ガス）の主要排出源（排出源量16%）の為に気候に優しい農業経営、すなわち飼育頭数を減らしたら経営が困難なので転職に迫られているというのだ。いずれは起こるかも知れないと考えてはいたが、厳しい！もう待っている暇はないようだ。

昨年の10月下旬からコロナの感染者が減少していたため、12月15日に清水園で役員、委員、班長合同会議が対面で開催された。全体会の後でそれぞれの委員会に分かれて会議が行われたが参加された皆様の協力のお陰で短時間で無事に終了することができました。

しかし、昨年に引き続き今年の狂犬病集合注射実施者講習会は資料での講習になった。オミクロン株が猛威を振っている現在、対面での講習会開催中止は賢明な選択であった。講習会資料で久しぶりの埼玉県獣医師会発行の「狂犬病の葉」を懐かしく目を通したが、学び直しにうってつけの資料であった。

今年こそは感染症が収まって皆さんがごく普通の社会活動が出来るようになって欲しいものです。それまで頑張りましょう。（不動）



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



清水園

〒331-0841 創業明治3年 ご婚礼・ご宴会

さいたま市大宮区東町 2-204

TEL 048-643-1234

JR 大宮駅東口徒歩8分 氷川神社入口そば

大宮清水園

検索

広告



犬のマラセチア 皮膚炎治療に

(使い心地にこだわった国産の外用剤!)

☑香り ☑泡立ち ☑すすぎやすさ



詰め替え
しやすい
注ぎ口付き

動物用医薬品
犬用 マラセチア皮膚炎治療薬
EXTERNAL MEDICINE for DOGS

マラセキュアTM
MALASECURETM

クロルヘキシジングルコン酸塩2%配合

ミコナゾール硝酸塩2%配合



250mL



詰め替え用2L

■販売元 **ささえあ製薬株式会社**
東京都品川区上大崎2丁目13番2号 <https://www.sasaeah.co.jp>

■製造販売元 **フジタ製薬株式会社**
東京都品川区上大崎2丁目13番2号 <http://www.fujita-pharm.co.jp>